

安楽寺だより

第19号

紙面内容

- 2面 親鸞聖人のご生涯（その十）
- 3面 瑞穂区仏教会九月感謝会法要
- 4面 仏教豆知識（日本仏教②）

編集・発行 安楽寺住職 吉田 和良
名古屋市瑞穂区井戸田町一の八〇
電話 〇五二（八四一）二六〇六

先月六月十三日、安楽寺会館を会場に、二十二組の第一回真宗同朋講座が開催されました。この講座は真宗の教えをご門徒の皆様と共に学ぶ機会として、今年度から始まりました。

自分の姿がはつきり見えてくる のが真宗の学びです

宗の学びの大切なところです。

ご参加の皆様全員で正信偈同朋奉讃のお勤めをした後、木全組長（法恩寺住職）の挨拶と今後の講座の説明がありました。そして「親鸞聖人と私」と題し、上垣内誓教寺住職の感話があり、引き続き礫朋寺住職・小川正幸師から「宗祖親鸞聖人」をテーマに講話がありました。

「九〇年の聖人のご生涯を学ぶにあたって何を学ぶのかを明らかにすることが大事です。学びを通して人間として生まれたことを喜び、苦勞の連続の中に豊かな意味を見いだすのがなりよりも大事です。

「どんな縁にせよ、この場に来られた皆様は、学びすなわち聞法をする場におられます。聞法は何がわからないかを明らかにすることこそ必要だと思います。わかったということそれ以上の進歩はありません。わからないことの内容を深めていくのが聞法であり、真

「聖人は法然上人というよき師に出会われ、人生の根本問題を明らかにされました。曾我量深先生は『よき師とは、私の背後を歩む（背中を押してくれる）人である』と、宮城頭先生は『師とは私を眠らせない存在、友とは私を酔わせない存在』とおっしゃいました。

「教えとの出会いによって明らかにするのは、思いどおりにならない人生であり、思いどおりにしようとするから苦しむ。また教えを聞くと腹立つ自分がなくなるのではなく、腹を立てる自分の姿がはつきり見えてくることとが真宗の学びなのです。」

小川師は、真宗の教えを学ぶ心得について解り易く話されました。第二回講座は七月二十三日午後二時より開催されます。ご参加ご希望の方は安楽寺までご連絡下さい。

22組真宗同朋講座始まる

親鸞聖人のご生涯

その十 善鸞義絶



弥陀の本願信ずべし
本願信するひとはみな
摂取不捨の利益ゆえ
無上覚をばさとるなり

「いまは、おやということあるべからず、ことおもうことおもいきりたり」(善鸞義絶状)

親鸞聖人が京に帰られて二十年余り、八十三歳の頃、関東では鎌倉幕府の支配体制が築かれつつあり、念仏者への弾圧も強まってまいりました。関東の門弟たちの中には、さまざまな異義をとなえたり、勢力争いをしたり、また土着の信仰に融合していく者も出てまいり、混乱を極めていました。これらの渦中の門弟の中には、聖人にお手紙を送って指導を求めたり、はるばる京を尋ねて教えを乞う者もありました。

た。善鸞は、はじめは門弟たちの混乱を鎮めようと懸命に努力しましたが、事態はなかなか治まりません。そこで、門弟たちのところを自分に向けさせようとして、「本当の念仏の教えは、父・親鸞から私へ、夜ひそかに授けられています」などと偽りを口にしたり、地の権力者たちと手を組んだりもしました。

聖人は、関東の門弟たちばかりか、我が子ひとりをもどうすることも出来ない自分を深く悲しまれます。このような悲しみの中で、多くの執筆や書写に力を注がれました。

そして、夢の中で感得した次の和讃がのこされています。

聖人は、これらの問いに対して真摯に向かい合い、手紙を書き送って、念仏者の信仰のあり方を繰り返し説かれました。また、息子の慈信房善鸞を関東に赴かせまし

このような善鸞の様子を手紙などによって知らされた聖人は、一二五六年(建長八年)八十四歳の時、親子の縁を断ち切る決意をして、善鸞や門弟たちに手紙を送りました。

「弥陀の本願信ずべし
本願信するひとはみな
摂取不捨の利益ゆえ
無上覚をばさとるなり」

瑞穂区 紫雲殿新瑞齋場で感謝会法要

瑞穂区仏教会では、来る九月十五日(祝)午後二時より紫雲殿新瑞齋場で、感謝会法要を勤めまします。毎年敬老の日に開催しております。愛着のあるお人形やぬいぐるみ、また古くなつた掛け軸、位牌、仏具、お守り、写真などを

第一回は、現代美術作家・山田 職一同で感謝法要(おしよぬさ「世界五〇ヶ国を旅しての講演(き)のお勤めを致します。受付がございます。山田氏は名古屋を 時間は、午後二時〜四時までで拠点にエネルギーシユなど活躍す。 ぜひともお出かけください。

お稚児さん募集

11月16日宝蔵寺であります



瑞穂区仏教会の曹洞宗宝蔵寺様では、今秋第六世泰純住職の普山式(住職就任式)が厳修されます。

十一月十六日(日)の式には、

お稚児行列が催されます。「稚児行列では、お釈迦様より伝わる法性水(智慧の水)を頂戴して法縁を結び、お釈迦様に見守られたお子様のすこやかな成長を願い、無病息災、学芸上達、交通安全等をご祈願致したいと存じます」(宝蔵寺お稚児募集のお知らせより)

一般お稚児は、衣装・お供物・お守りも付けて七千円です。申込書に参加費を添えて直接宝蔵寺様(瑞穂区軍水町三三三)

安楽寺法要日程

七月十三日(土)	定例法話	午前・午後
	昭和区	八神正信師
八月 四日(日)	盂蘭盆会法要	午前十時・午後一時
	(初盆法要は八月三日)	住職
九月十三日(金)	秋季永代経法要	
	午前十時・午後一時半	稲沢市 榎山正樹師
十月十三日(日)	定例法話	午前十時
		坊守
十一月十二日(火)	午後一時半・四時	
十三日(水)	午前十時・午後一時半	
	報恩講法要	
	昭和区	荒山 修師
十二月十三日(金)	定例法話	午前・午後
	昭和区	八神正信師

電話〇五二(八三三)八〇〇六に連絡の上お持ちいただくか、安楽寺までお申し込み下さい。申込書は、安楽寺にもあります。申込締切は 十月十五日(水)です。